



にぎわい

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

【新潟県長岡市寺泊】

“寺泊の美しい海岸線”

長岡市寺泊地域(旧寺泊町)には、南北16kmにもおよぶ海岸線が続いています。

この海岸線のほぼ中央に位置するのが寺泊港。古くは佐渡への玄関口として、また江戸時代には日本海を行き交う北前船の寄港地として栄え、今も当時の繁栄を偲ばせる史跡が数多く残されています。その役割は物流から人流へと軸足を移し、現在は本州(寺泊港)と佐渡(赤泊港)を1時間で結ぶ高速船「あいびす」が航行するなど、観光や生活に重要な港として利用されています。

佐渡を望む波穏やかな海岸には4つの海水浴場があり、夏は海水浴やマリンスポーツを楽しむ人で賑わいます。さらに、新鮮な魚が並ぶ「魚の市場通り(通称:魚のアメ横)」は、広く県外にも知られ、年間250万人以上が訪れる新潟県内有数の観光スポットとなっています。

この美しい自然と史跡を守り、さらに多くの人から訪れてもらおうと、行政や企業だけでなく市民の活動も積極的に行われています。毎年、海水浴シーズン前の海岸一斉清掃には600人以上のボランティアが参加します。さらに8月には市民が参加しての港まつりが行われ、夜にはファンタジックな海上大花火大会で地域を盛り上げています。



新潟県長岡市寺泊



寺泊港まつり



海岸清掃で集められたごみ



寺泊港まつり海上大花火大会



魚の市場通りの賑わい

【富山県魚津市】

第4回魚津産業フェア「まるまる魚津」開催！

平成20年10月18日(土)・19日(日)の2日間、魚津市内の商工業・農林水産業者が一同に集い、生鮮産品や自社商品・製品・サービスをPRする産業フェアが開催されました。

このイベントは市内施設の2会場で開催され、このうち「みなとオアシス魚津」の中核施設である「海の駅蜃気楼」会場では、魚津が誇る新鮮な鮮魚・塩干物の販売や魚介類をその場で食べられる海鮮鍋や浜焼きコーナーなどが設けられました。

「海の駅蜃気楼」会場の屋外特設会場では、警察や消防車両など働く車の展示・試乗・無料記念撮影が行われました。またミニSL蒸気機関車は、子ども達に人気があり長い行列ができました。

さらに、地産地消の推進で魚津産の魚を使った「すりかま作り体験」また、地元新川育成牧場の牛乳を使った「バター作り体験」等趣向を凝らした様々な参加体験型イベントが実施されました。



富山県魚津市

魚津産業フェア



新鮮な鮮魚を買い求める来場者



消防車両の試乗



うおづの魚を使ったすりかま作り体験

「ビーチライフ in 能登七尾」を開催

9月23日（火・祝）、能登島マリンパーク（七尾市）にて、「ビーチライフ in 能登七尾」が開催されました。

浅尾美和選手、西堀健実選手、楠原千秋選手、浦田聖子選手といったトップアスリートが参加したビーチバレーファイト☆カップなど様々なビーチスポーツが行われました。

当日は晴天にも恵まれ、会場には約 7500 人の方々が訪れ、新たな海辺の活用をPRできました。



ビーチバレーファイト☆カップ



ビーチドッジボール



ビーチバレースクール

今回のビーチライフ in 能登七尾の開催にあたり、本田技研工業株式会社社会活動推進室の協力により、ビーチクリーン活動が行われました。

能登島マリンパークといいPARK七尾で実施され、漂着ゴミ等が散乱していた砂浜から素足で歩ける砂浜へ生まれ変わりました。



回収したゴミ



清掃活動する地元小学生



4輪バギーでの清掃の様子

【福井県敦賀市】

みなとオアシス敦賀

～国際的な歴史ロマンただよう人道の港 敦賀～

みなとオアシス敦賀には、金ヶ崎緑地、旧敦賀港駅舎、きらめきみなと館などの施設のほか、日本三大松原の1つに数えられる景勝地、気比の松原があります。

これらのうち、当みなとオアシスの中核施設である「金ヶ崎緑地」は、来訪者にとっての憩いのウォーターフロントとしてだけでなく、多くのイベントが開催されるなど、賑わいの場として利用されています。また、かつて欧亜国際連絡列車の発着場となった敦賀港駅を復元した「鉄道資料館」や、ポーランド孤児やユダヤ人難民の上陸地となった歴史ロマンを紹介する「人道の港 敦賀ムゼウム」があり、県内外から多くの来館者が訪れています。



【福井県おおい町】

— こども家族館来館者10万人達成 —

おおい町成海地係（福井県・おおい町・わかさ大飯マリンワールド㈱の三者で埋立・愛称うみんぴあ大飯）で、平成20年8月にオープンした福井県こども家族館の来館者が、オープンから100日余りで10万人を突破しました。

この施設は福井県が児童福祉施設の大型児童館として建設したもので、おおい町が指定管理者として管理・運営を行っています。

鉄骨造り4階建て、施設内には、こども探検号（全長20m、幅6.3m）を中心に、ボールプール、ものづくり工房、クッキング工房、なんでもホール、ちびっこひろば等のゾーンが整備されています。

やはり1番人気は、こども探検号と日本最大級のボールプールで、週末はもちろん、平日でも遠足やお母さんに連れられた小さなお子さん達で賑わっています。



また、関西電力㈱の未来体感ミュージアム「エルガイアおおい」も隣接されており、超大型映像シアター（シアターガイア・幅22m、高さ6m、視野角120度のカーブスクリーンとバーチャルリアリティ映像システム採用）で、まるでその空間の中にいるかのような感覚を満喫したり、漫画家松本零士さんプロデュースのキャラクターとともに宇宙発電所のオペレーションや宇宙船の操縦シミュレーションなどが体験できる施設が人気を博しています。



編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

北陸地方整備局 港湾計画課 大井

TEL 025-370-6604 FAX 025-280-8783